



CHAPTER 4

Cisco Unified IP Phone の設定値の設定

Cisco Unified IP Phone には、設定可能なネットワーク設定値が用意されています。電話機をユーザが使用できる状態にするには、これらの設定値の修正が必要になる場合もあります。電話機のネットワーク設定値にアクセスし、表示および変更するには、Interactive Voice Response (IVR; 音声自動応答装置) にアクセスします。その他の設定値は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定できます。

この章は、次の項で構成されています。

- 「Cisco Unified IP Phone の設定値の設定」 (P.4-1)
- 「電話機の設定値へのアクセス」 (P.4-2)

Cisco Unified IP Phone の設定値の設定

Cisco Unified IP Phone を機能させるには、電話機でネットワーク設定値を設定する必要があります。電話機の設定値を確認するには、電話機の IVR を使用します。DHCP サーバを使用して電話機をネットワークに接続する場合は、DHCP サーバを使用してネットワーク設定値を設定できます。また、IVR にアクセスして、電話機を手動で設定することもできます。

[電話の設定 (Phone Settings)] オプション

表 4-1 に、IVR で設定できる [電話の設定 (Phone Settings)] の各オプションを示します。

表 4-1 ネットワーク メニュー オプション

オプション	説明
[DHCP]	電話機の DHCP が有効か無効かを示します。 DHCP が有効である場合、DHCP サーバによって電話機に IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ルータ、および TFTP サーバが割り当てられます。DHCP が無効である場合は、管理者が手動で電話機に IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ルータ、および TFTP サーバを割り当てる必要があります。
[IP アドレス (IP Address)]	電話機の Internet Protocol (IP; インターネット プロトコル) アドレス。 IP アドレスをこのオプションで割り当てる場合は、サブネット マスクとデフォルト ルータも割り当てる必要があります。この表の [サブネット マスク (Subnet Mask)] オプションと [デフォルト ルータ (Default Router)] オプションを参照してください。

表 4-1 ネットワーク メニュー オプション (続き)

オプション	説明
[サブネット マスク (Subnet Mask)]	電話機で使用されるサブネット マスク。
[デフォルト ルータ 1 (Default Router 1)]	電話機で使用されるデフォルト ルータ ([デフォルト ルータ 1 (Default Router 1)])。
[TFTP サーバ (TFTP Server)]	電話機で使用される、プライマリの Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバ。ネットワークで DHCP を使用していない場合、またはこのサーバを変更する場合は、TFTP サーバを割り当てる必要があります。
[802.1x セキュリティ (802.1 xSecurity)]	電話機の 802.1x セキュリティが有効か無効かを示します。

電話機の設定値へのアクセス

IVR の PIN を変更するには、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] に移動し、[共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] ページの [電話ロック解除パスワード (Local Phone Unlock Password)] フィールドにパスワードを指定します。



(注) 電話機にユーザ ID または PIN を関連付けていない場合、電話機にはデフォルトの PIN 24726 が使用されます。

関連項目

- 「[Cisco Unified IP Phone の設定値の設定](#)」 (P.4-1)

IVR へのアクセスと電話機の設定値の設定

IVR にアクセスし、電話機の設定値を設定するには、次の手順を実行します。



(注) PIN を変更するには、Cisco Unified CM の管理 Web ページの [共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] ページにある [電話ロック解除パスワード (Local Phone Unlock Password)] を使用します。

手順

- ステップ 1** IVR にアクセスするには、オフフックにして、*、#、および 0 ボタンを同時に押します。Cisco Unified IP Phone 6911 では、スピーカー ボタンを押して、*、#、および 0 ボタンを同時に押します。IVR からパスワードの入力を求められます。



(注) Cisco Unified IP Phone 6901 および 6911 では、パスワードに数値のみ入力できます。

- ステップ 2** 数字キーパッドを押して PIN を入力し、最後に # ボタンを押します。これで、IVR のメイン設定メニューに移動します。

- ステップ 3** IVR の音声プロンプトに従います。IVR のナビゲートの詳細については、表 4-2 を参照してください。
- ステップ 4** メイン設定メニューに戻るには、# を押します。
- ステップ 5** IVR を終了するには、コールを終了します。

表 4-2 に、IVR の設定メニューの各種オプションについて説明します。

表 4-2 IVR の設定メニューのナビゲート


操作	IVR コード	ナビゲートに関する注意事項
ネットワーク設定値を確認または設定する	1	<p>DHCP が有効である場合、IVR によって各ネットワークパラメータがアナウンスされます。</p> <p>DHCP が無効である場合、IVR によって、新しい値を入力するための間隔を空けながら、各ネットワークパラメータがアナウンスされます。</p> <ol style="list-style-type: none"> IVR によって、IP アドレスがアナウンスされません。電話機の IP アドレスを変更するには、キーパッドを使用して新しい IP アドレスを入力し、最後に # を押します。現在の IP アドレスを保持するには、# を押します。 IVR によって、サブネットマスクがアナウンスされます。サブネットマスクを変更するには、キーパッドを使用して新しい IP アドレスを入力し、最後に # を押します。現在のサブネットマスクを保持するには、# を押します。 <p> (注) IP アドレスの各オクテットを区切るドット「.」を入力するには、* を押します。</p> <ol style="list-style-type: none"> IVR によって、デフォルトゲートウェイがアナウンスされます。デフォルトゲートウェイを変更するには、キーパッドを使用して新しい IP アドレスを入力し、最後に # を押します。現在のデフォルトゲートウェイを保持するには、# を押します。
TFTP サーバを確認または設定する	2	<p>IVR によって、現在の TFTP 設定がアナウンスされます。</p> <p>TFTP サーバを変更するには、キーパッドを使用して新しい IP アドレスを入力し、最後に # を押します。現在の TFTP サーバを保持するには、# を押します。</p> <p>手動で設定された TFTP サーバから、DHCP サーバによって設定された TFTP サーバにリセットするには、* を押します。</p> <p>(注) IP アドレスの各オクテットを区切るドット「.」を入力するには、* を押します。</p>
DHCP を有効または無効する	3	<p>3 を押して、DHCP の有効と無効を切り替えます。</p>

表 4-2 IVR の設定メニューのナビゲート (続き)

操作	IVR コード	ナビゲートに関する注意事項
802.1X を有効または無効にする	4	4 を押して、802.1X セキュリティの有効と無効を切り替えます。
工場出荷時の設定にリセットする	0	— (注) すべての設定値が工場出荷時のデフォルト設定値にリセットされ、電話機もリセットされます。電話機の再登録にはしばらく時間がかかります。このオプションは必要な場合だけ選択してください。